

政策評価・事務事業評価シート

事業名称 市政情報発信事業

	H28年度予算額	(参考) H27年度決算額	(参考) H26年度決算額
事業費	92,607,000 円	91,146,550 円	94,608,053 円

事業評価チェック表

PLAN	<ul style="list-style-type: none"> 事業の概要 各種広報媒体の連携を図り、それぞれの広報媒体の特性を生かして、タイムリーかつスピーディーな情報の提供を行う。 ねらい <ul style="list-style-type: none"> 広報おおた：市政情報をタイムリーに伝え、市政に対する正しい認識と協力を得る。 エフエム太郎（行政情報）：市政情報の提供及び役立つ情報をきめ細かに提供し、市民生活の利便性に寄与する。 テレビ広報番組：行政情報及び市民活動を映像で市民にわかりやすく紹介する。 市ホームページ及びツイッター：使いやすさや見やすさを追求し、障がい者など他の媒体による情報の受託が困難な人に、タイムリーな情報提供を行う。 市政情報コーナー：市政情報の提供と市発行の頒布物等の販売を行い、市民生活の利便性に寄与する。 予算 平成 27 年度当初予算額 91,526,000 円
	<ul style="list-style-type: none"> 事業実績 <ul style="list-style-type: none"> 広報おおた：発行部数：1 回（号）について、83,500 部（変動あり）発行日：原則的に毎月 3 回（1 日・10 日・20 日）※1 月のみ 2 回（1 日・20 日） エフエム太郎（行政情報）：おおたシティインフォメーションは、毎週月～金曜日 2 回放送（再放送を含む）。市長いまどきトークは、毎月第 2・4 火曜日放送。太田市からのお知らせは、毎週月～金曜日 4 回、毎週土・日は、3 回放送。突撃リポートおおたは、毎週日曜日 2 回放送。太田市議会一般質問放送は、年 4 回放送（6 月、9 月、12 月、3 月） テレビ広報番組：おおたときめきホットラインは、年 3 回（6 月、10 月、12 月）放送。 市ホームページ及びツイッター：市ホームページアクセス数 2,502,279 件。 ツイッターフォロワー数 2,773 件。 市政情報コーナー：利用者数 15,395 人。（平成 28 年 3 月末現在）

CHECK	評価項目	評価基準（概要欄の○）		評価点	評価コメント	
	必要性 (市民ニーズ)	きわめて必要性が高い (20 点) ○ 必要性が高い (15 点) どちらかと言えば必要性がある (10 点) 必要性が低い (5 点) 必要性がない (0 点)				20
公共性 (市で行わなければならないか)	市が行わないといけない (20 点) ○ 公共性が高い (15 点) どちらかと言えば市が実施 (10 点) 公共性が低い (5 点) 公共性がない (0 点)		20	市民への市の情報提供は、重要な事業で義務であることから、市が行うべきではあるが、広報紙の編集・作成業務を民間に委託している自治体もあることから、今後、民間の活力を活かすことも検討すべき。		
費用対効果 (コストに見合った成果があるか)	きわめて効果的である (20 点) 効果的である (15 点) ○ どちらかと言えば効果的 (10 点) どちらかと言えば非効果的 (5 点) 非効果的である (0 点)		15	広報おおたの新聞折り込みについては、スピーディーな発行を実現するための必要な経費と考えるが、月 3 回の発行に係る人件費や、広報紙以外の媒体の活用など、より効果的に情報提供を行う余地はあると思われる。		
優先性 (他事業に優先し実施する必要があるか)	きわめて優先性が高い (20 点) 優先性が高い (15 点) ○ どちらかと言えば優先性がある (10 点) 優先性が低い (5 点) 優先性がない (0 点)		15	優先性が高い事業ではあるが、生命身体に係る事業と比べると、最優先とはいえない。しかし、災害時や緊急時に情報を提供する手段をとって、多種の媒体を用意し、最適な情報提供を優先して行う必要がある。		
成果 (目標の達成状況)	きわめて成果があがっている (20 点) ○ 成果があがっている (15 点) どちらかと言えばあがっている (10 点) どちらかと言えばあがっていない (5 点) 成果はあがっていない (0 点)		15	成果の判断は難しいが、ホームページのアクセス数などから、広報おおた以外の各媒体を利用して情報を得ている人は増えてきており、成果はあがっていると考えられるが、新たな媒体の導入など改善や工夫の余地はある。		
ACTION	総合評価基準		計	85/100	課題	
	評価	5	きわめて良好である 80 点以上	○	5	時代の変化に合わせ、情報発信媒体のそれぞれの利点を活かし、市民が受動的に情報を得られる仕組みが必要。広報おおたについては、月 3 回の発行回数や、紙面構成が市民ニーズに合っているのか検証を行うべき。
		4	適正である 60～79 点			
		3	おおむね適正である 40～59 点			
		2	問題がある 20～39 点			
		1	不適正である 19 点以下			

決算事業評価結果表

評価	今後の方向性基準評価（概要欄の○）		評価	決定理由	
	5	「拡充する」			3
	4	「現状のまま継続する」			
	3	「改善・効率化し継続する」			
	2	「見直しのうえ縮小する」			
1	「不適正である」				

事業名称	議会評価		特定理由（今後の事業展開）
	総合評価	今後の方向性	
市政情報発信事業	5	3	現状でも各媒体を活用し積極的に情報提供を行っているが、障がいのある人や新聞を取らない人への情報提供、各年代への最適な提供方法など、さまざまな課題があることから、情報媒体それぞれの利点を活かし、市民が情報を受け取るための、新たな仕組み作りが必要と考える。また、この事業の中心である「広報おおた」については、現状が最善とは考えずに、紙面構成や発行回数など、常に市民のニーズに合わせた改善に取り組んでいただきたい。